

5 - 9 阿寺断層周辺の変動地形調査 付知川沿岸の¹⁴C年代

Morphotectonic Investigation along the Atera Fault - ¹⁴C Dating on the Terrace
along the Tsukechi River -

国土地理院
Geographical Survey Institute

木曾川の一支流である付知川は、その中流域で阿寺断層と交差している。中流域で広く発達する新期段丘面には低断層崖が生じており、水平に約35m、垂直に6～13mの断層変位量が計測されている（Sugimura & Matsuda, 1965）。この断層崖と段丘面に載る扇状地とに囲まれた沼沢地で簡易ボーリングを行ない、段丘礫層、扇状地礫層の上に重なるシルト層中の腐植土を採取した。この腐植土の¹⁴C年代測定を実施し下記のような結果を得た。

測定値 6150 ± 70yr. B. P.

番号 N - 4183

測定者 日本アイソトープ協会

試料 腐植質シルト

採取者 津沢正晴

採取地 岐阜県恵那郡付知町倉屋

北緯 35° 40' 07"

東経 137° 25' 05"

標高 512m

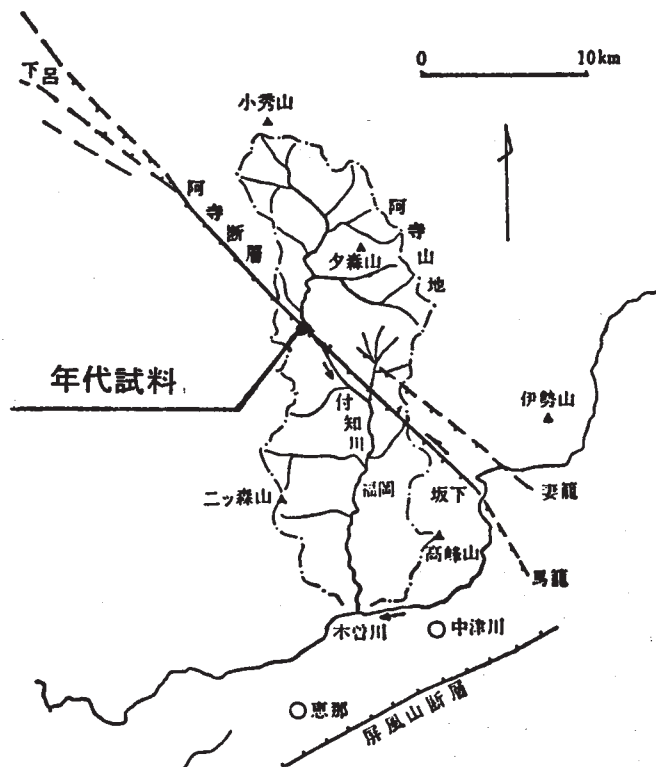
層位 地表下190～220cm, 扇状地礫層直上のシルト層

腐植土の直下に在る扇状地礫層は、低断層崖の形成後に堆積したと考えられるので、段丘面離水後に断層運動があったのは、6150 ± 50yr. B. P. より古い時期ということになる。前記の変位量の測定値から断層変位速度を推定すると、6m/10³yr. よりやや小さい値になると考えられる。

参 考 文 献

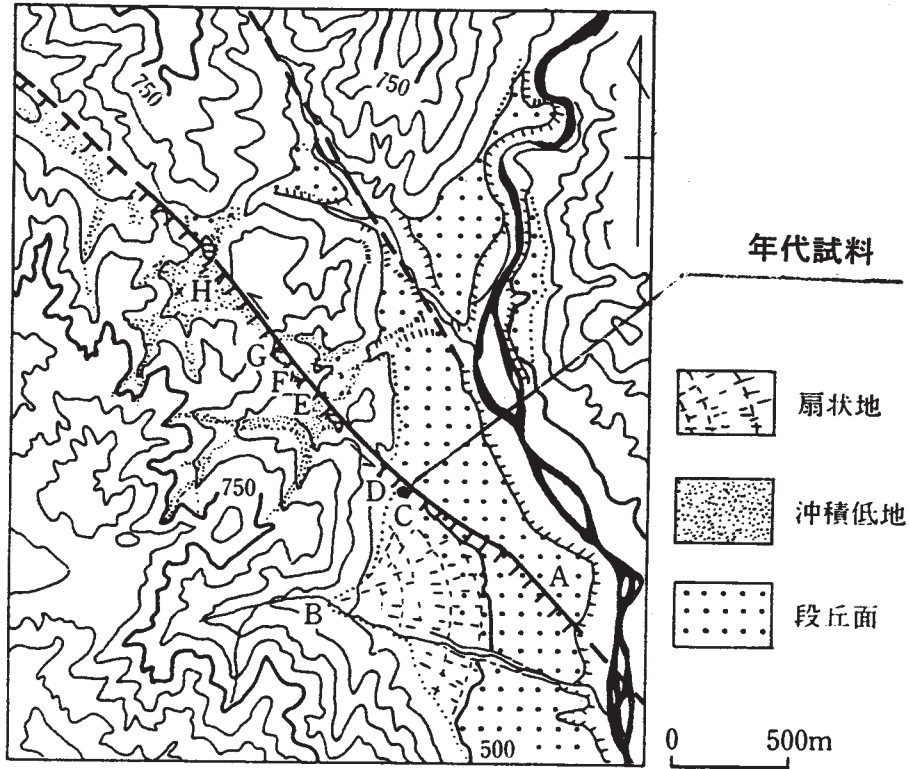
- 1) 活断層研究会 編 (1980), 日本の活断層 - 分布図と資料, 東京大学出版会, 363p.
- 2) Sugimura, A. and Matsuda, T. (1965), Atera fault and its displacement vectors, Geol. Soc. Amer. Bull., 76. 509 - 522.

3) 津沢正晴 (1981), 付知川沿岸の段丘, 月刊地球



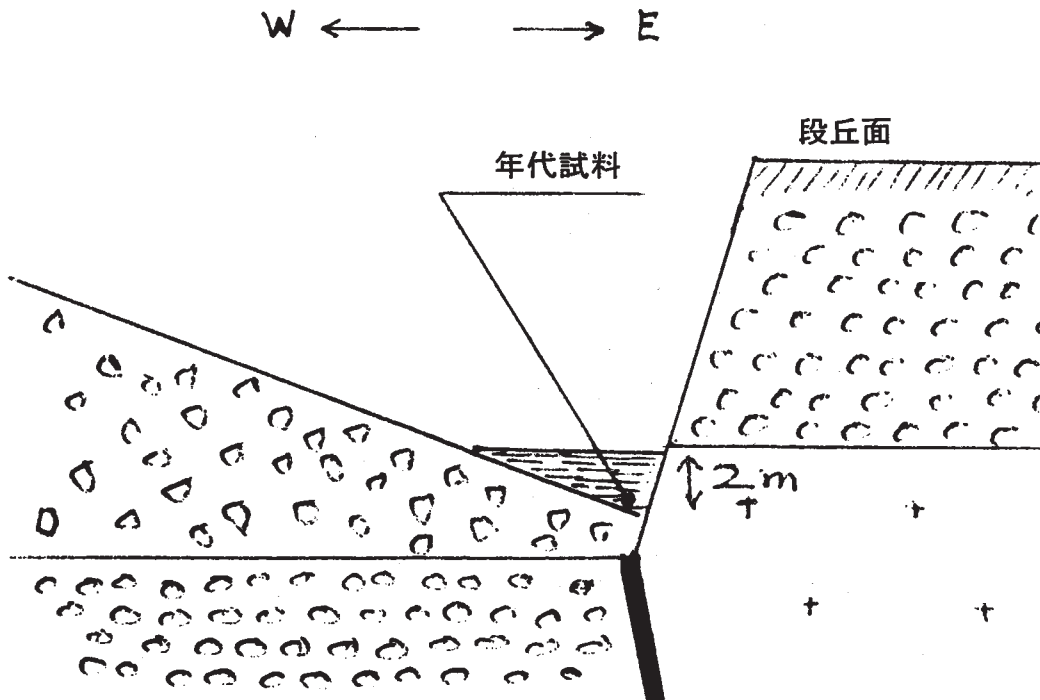
第1図 阿寺断層周辺地域概念図
阿寺断層・屏風山断層以外の活断層は省略した。

Fig. 1 Index map of the Atera fault area.



第2図 付知町付近の阿寺断層と河岸段丘（松田ほか，1977 に加筆）

Fig. 2 The Atera fault and the river terraces in Tsukechi town.



第3図 付知町倉屋の河岸段丘模式断面と年代資料採取位置

Fig. 3 Schematic section showing the river terrace at Kuraya in Tsukechi town.